

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)

【公開番号】特開 2008-209912 (P2008-209912A)

【公開日】平成 20 年 9 月 11 日 (2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報 2008-036

【出願番号】特願 2008-16291 (P2008-16291)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/1335 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 11 日 (2011.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】混色部の修正方法及びカラーフィルタの作製方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の着色層上に第 2 の着色層が重なる混色部の修正方法であって、
レーザビームを選択的に前記混色部に照射することで、前記混色部の前記第 2 の着色層は取り除かれ、

前記第 1 の着色層と前記第 2 の着色層とは色が異なり、

前記レーザビームは、前記第 2 の着色層に対する透過率よりも、前記第 1 の着色層に対する透過率が高い波長を有することを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 2】

第 1 の着色層上に第 2 の着色材料が重なる混色部の修正方法であって、

レーザビームを選択的に前記混色部に照射することで、前記混色部の前記第 2 の着色層は取り除かれ、

前記第 1 の着色層と前記第 2 の着色層とは色が異なり、

前記レーザビームは、前記第 2 の着色層に対する透過率よりも、前記第 1 の着色層に対する透過率が 10% 以上高い波長を有することを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記第 1 の着色層及び前記第 2 の着色層は、液滴吐出法により形成することを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は緑色の光を透過し、前記第 2 の着色層は青色の光を透過し、前記レ

ーザビームの波長は 515 nm 以上 600 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は緑色の光を透過し、前記第 2 の着色層は赤色の光を透過し、前記レーザビームの波長は 470 nm 以上 585 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は赤色の光を透過し、前記第 2 の着色層は緑色の光を透過し、前記レーザビームの波長は 595 nm 以上 700 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は赤色の光を透過し、前記第 2 の着色層は青色の光を透過し、前記レーザビームの波長は 580 nm 以上 700 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は青色の光を透過し、前記第 2 の着色層は緑色の光を透過し、前記レーザビームの波長は 400 nm 以上 500 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は青色の光を透過し、前記第 2 の着色層は赤色の光を透過し、前記レーザビームの波長は 400 nm 以上 535 nm 以下であることを特徴とする混色部の修正方法。

【請求項 10】

基板上に第 1 の色を有する第 1 の着色層を形成し、

前記基板上に、前記第 1 の色とは異なる第 2 の色を有する第 2 の着色層を形成し、

前記第 1 の着色層及び前記第 2 の着色層の形成により生じた、前記第 1 の着色層上に前記第 2 の着色層が重なる混色部に対して、レーザビームを照射することで、前記混色部の前記第 2 の着色層を取り除き、

前記レーザビームは、前記第 2 の着色層に対する透過率よりも、前記第 1 の着色層に対する透過率が高い波長を有することを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 11】

基板上に第 1 の色を有する第 1 の着色層を形成し、

前記基板上に、前記第 1 の色とは異なる第 2 の色を有する第 2 の着色層を形成し、

前記第 1 の着色層及び前記第 2 の着色層の形成により生じた、前記第 1 の着色層上に前記第 2 の着色層が重なる混色部に対して、レーザビームを選択的に照射することで、前記混色部の前記第 2 の着色層を取り除き、

前記レーザビームは、前記第 2 の着色層に対する透過率よりも、前記第 1 の着色層に対する透過率が 10 % 以上高い波長を有することを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 12】

請求項 10 または請求項 11 において、

前記第 1 の着色層及び前記第 2 の着色層は、液滴吐出法により形成することを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 13】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれか一において、

前記第 1 の着色層は緑色の光を透過し、前記第 2 の着色層は青色の光を透過し、前記レ

ーザビームの波長は 515 nm 以上 600 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 14】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の着色層は緑色の光を透過し、前記第 2 の着色層は赤色の光を透過し、前記レーザービームの波長は 470 nm 以上 585 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 15】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の着色層は赤色の光を透過し、前記第 2 の着色層は緑色の光を透過し、前記レーザービームの波長は 595 nm 以上 700 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 16】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の着色層は赤色の光を透過し、前記第 2 の着色層は青色の光を透過し、前記レーザービームの波長は 580 nm 以上 700 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 17】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の着色層は青色の光を透過し、前記第 2 の着色層は緑色の光を透過し、前記レーザービームの波長は 400 nm 以上 500 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。

【請求項 18】

請求項 10 乃至請求項 12 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の着色層は青色の光を透過し、前記第 2 の着色層は赤色の光を透過し、前記レーザービームの波長は 400 nm 以上 535 nm 以下であることを特徴とするカラーフィルタの作製方法。